

目次

インフォメーション

裁判所の組織	3
採用試験	4

裁判所で活躍するプロフェッショナル

職種紹介	5
キャリアパス／待遇	6
裁判所事務官	7
裁判所書記官	9
家庭裁判所調査官	11

チームで働く

主任書記官×裁判所書記官×裁判所事務官	13
主任家庭裁判所調査官×家庭裁判所調査官	15
裁判官からのメッセージ	17
司法行政部門で働く	19

職員からのメッセージ

若手職員	21
裁判所の総合職	25
幹部職員	27
外部経験を生かして活躍する職員	29

研修制度

裁判所職員総合研修所・採用後の研修	31
家庭裁判所調査官養成課程	32
裁判所書記官養成課程 第一部研修生	33
裁判所書記官養成課程 第二部研修生	34

ワークライフバランス

仕事と家庭を両立して働く職員	35
----------------	----

Q&A	37
-----	----

人事担当者からのメッセージ	38
---------------	----

変化する社会に、
各自が自己の役割を真剣に考え、
力を合わせて真摯に取り組む



デジタル化をはじめとして、今、社会全体が大きな変革期を迎えています。

裁判所が、紛争解決機関としての使命を果たし、国民からの信頼を得ていくためには、国民のニーズを踏まえ、社会の変化に対応し続けることが必要といえます。

裁判所は、裁判官、書記官、事務官、家裁調査官等、多くの職種の職員で構成されていますが、それぞれが「連携」して、複雑・多様化する紛争に臨み、「協働」して、適正迅速な裁判の実現に向けて日々努力をしています。

変化する社会に、それぞれが、自己の役割を真剣に考え、力を合わせて真摯に取り組む、裁判所にはそんな「チーム」のような土壌が醸成されています。

みなさんも「チーム」の一員に加わりませんか。新しい時代に向かう裁判所と一緒に見つめて行きましょう。きっと、大きなやりがいと達成感が得られるはずです。

若さと情熱にあふれたみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。

最高裁判所
大法廷首席書記官

佐藤 信哉